

大阪府堺市×民間 5 社で、堺市の地域活性化を促進 「スマートシティに関する新たな移動支援等の構築に向けた連携協定」を締結 ～ゼンリンの詳細な地図情報で、地域課題解決を支援～

株式会社ゼンリン（本社：福岡県北九州市、代表取締役社長：高山善司、以下ゼンリン）は、大阪府堺市（市長：永藤英機、以下堺市）が策定する「スマートシティに関する新たな移動支援等の構築に向けた連携協定」を、アルプスアルパイン株式会社、エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、福伸電機株式会社の 4 社と共に、2021 年 11 月 8 日（月）に締結しました。

本協定の締結を通し、堺市と各社は、高齢者をはじめとする地域住民にとっての便利かつ安全な移動手段の導入を図り、堺市における地域課題の解決と、便利で快適な生活環境の実現を目指します。

■連携協定 締結の背景

堺市では、2021 年 5 月 31 日に「堺スマートシティ戦略」を策定し、高齢化が進む泉北ニュータウン地域を重点地域として定め、ICT を活用した住民の生活の質向上に向けた取組みを推進してきました。今回の協定はその一環として、高齢者をはじめとする地域住民に向けた便利で安全な移動手段の導入を図ることで、堺市における地域課題の解決と、地域住民の快適な生活環境の実現を目指して締結されました。

■連携協定の概要

堺市と民間 5 社は、以下の 3 点を連携内容とし、各種実証実験を行って参ります。

- (1) 便利で安全な移動手段の導入に関すること
- (2) 外出機会の促進に関すること
- (3) その他、地域課題の解決及び市民サービスの向上等に関すること

■ゼンリンの役割

本提携におけるゼンリンの役割は「デジタル地図生成技術等による、モビリティの移動に適した歩道走行の最適地図の構築等」です。ゼンリンが保有する詳細な地図情報と、各社の技術資産を活用し、小型モビリティを活用した高齢者への移動支援を行うことで、地域活性化への貢献を目指します。

■各者の役割

堺市	実証等におけるフィールド提供、地元・警察等との調整及び広報・周知の実施等
アルプスアルパイン	障害物検知センサー等の技術による走行時のモビリティの安全支援等
エヌ・ティ・ティ・コムウェア	行動変容を促すレコメンドエンジンを活用した外出促進サービスの提供等
東京海上日動火災保険	過去の自動車事故データ等の活用による、未然の事故防止対策や緊急時対応体制、新サービスに対応した保険の開発等
福伸電機	電動カートなど自社開発のパーソナルモビリティの活用検討、安全支援機能の搭載等
ゼンリン	デジタル地図生成技術等による、モビリティの移動に適した歩道走行の最適地図の構築等

■今後の展望

ゼンリンは本協定の締結を通し、地図情報の小型モビリティへの活用の可能性を探るべく実証実験を重ね、堺市における地域課題解決の実現を支援する新たなサービスの社会実装を目指します。また、将来的には、本取り組みを全国で同様の課題を抱える自治体に向けたモデルケースとすることで、地域社会への更なる貢献を目指します。

■関連リンク

・堺市プレスリリース

https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/senbokusaisei/senboku_smartcity/smartcityidoukyotei.html